平成 27 年５月 12 日

各　　位

会 社 名　　ワ　タ　ミ　株　式　会　社
（コード番号 7522　東証第一部）
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　　清水 邦晃
問合せ先　　執行役員経営企画本部長　　小田 剛志
（TEL 03-5737-2784）

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成２７年２月９日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしました。また下記の通り特別損失を計上することをお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

(1) 平成２７年３月期連結業績予想の修正（平成２６年４月１日～平成２７年３月３１日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益又は営業損失（△）	経常利益又は経常損失（△）	当期純損失（△）	１株当たり当期純損失（△）
前回発表予想(A) (平成２７年２月９日発表)	152,000	△1,300	△2,500	△7,000	△187 円 46 銭
今回修正予想(B)	155,310	△2,070	△3,410	△12,650	△338 円 76 銭
増減額(Ｂ－Ａ)	＋3,310	△770	△910	△5,650	―
増減率(%)	＋2.1	―	―	―	―
＜ご参考＞前期実績 (平成２６年３月期)	163,155	2,946	2,133	△4,912	△123 円 81 銭

【修正の理由】

当連結会計年度においては、海外外食事業における為替の影響等により、売上高が計画を上回る結果となりました。国内外食事業における既存店売上高前年比、宅食事業の調理済み商品お届け数、介護施設の新規入居者数は想定の範囲内で推移したものの、業績立て直しのための一時的な費用の追加計上、環境事業におけるメガ・ソーラー（厚真）開発費の計上等の影響により、営業損失、経常損失が拡大する見込みであります。また上記に加え、国内外食事業、宅食事業、介護事業及び海外外食事業の減損損失など特別損失の計上を行うこと等により当期純損失額が拡大する見込みであります。

２．特別損失の計上について

当連結会計年度においては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った国内外の外食店舗、及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった国内外の外食店舗等について減損処理を実施し 45.9 億円の減損損失の計上を行います。また、当社の連結子会社であるワタミフードシステムズ株式会社の宅食事業にかかるのれんにつきましても、同社における国内外食事業の状況等を鑑み、同社株式の実質価額について慎重に検討した結果、連結決算上、のれん未償却残高 15.8 億円全額についてのれん償却額を計上します。このほか撤退関連費用等を含め合計 69.0 億円の特別損失の計上を行います。

（注）本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。実際の業績等は、さまざまな重要な要素により、本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以　　上